

## ■ 懸命な初期治療で救われたオオワシ

諏訪湖で保護されたオオワシは、その日のうちに岡谷動物病院に運ばれ、佐々木厚院長を中心のチーム医療体制により懸命な診断、治療が施されました。

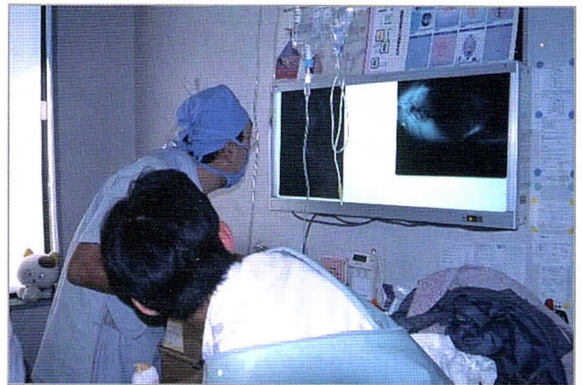
野生動物の場合、生と死は生態系のプロセスの一部であるとの考えから、必要以上の関わりは良くないという考え方もあるなか、佐々木院長は長年の動物医療の経験を活かし、猛禽類の中でも最大のオオワシの治療にあたってくれました。その適切な初期治療によってオオワシは救われました。



暴れる元気もなくおとなしく  
診断を受けるオオワシ



回復をはかる緊急対応の注射も打たれた



レントゲン撮影で異常の有無を確認



動かないグルに「ハイ、頑張ってね」



佐々木院長もオオワシは初の治療

**診 断 書**

血液検査結果 177年1月4日

当院にて、治療いたしました オオワシ につきまして、下記のとおり、診断いたします。

BT PCV=35% ↓ (44%) 血腫  
11-2-4

診断名 TP=24 ↓ (3.5 N) 肺7-07 0段

治療の経過

2.5% Dehydrin 600/pc  
バシリン 500/1m  
ピリンAD/E 1m

呼吸器 20%  
RTR 2/100 ppm, 5.20/1-1  
呼吸器 (-) 5.20 (-)

予後 良好 (A212 (-))

病7 NO.  
クライアント (飼い主) の住所 岡谷市 岡谷動物病院  
クライアント (飼い主) の氏名 榎本 正 敏  
患者動物名 オオワシ

岡谷動物病院  
OGAYA ANIMAL HOSPITAL  
電話 0266-23-00  
佐々木 厚

一連の診療が終えた診断書